

第 23 回北海道チャレンジドフット大会競技規則

<競技規則>

◎原則として、(財)日本サッカー協会制定のフットサル競技規則 2022/2023 を準用

①ボールはフットサルボールを使用する。

②試合中の選手交代は自由である。

- ・試合開始前に選手全員が審判に用具チェックを受け、試合中の申し出は必要ない。

※ジュニアクラスにおけるオーバーエイジ枠の選手については、試合開始前に審判及び両チーム監督の確認を受け、コート内には1名のみ出場を認める。

③キックインについて

- ・ボールはピッチから出た地点のライン上に静止しなければならない。またコート内に足を入れてもよい。
- ・ボールがピッチに入らなかった場合は相手チーム競技者のキックインとする。
- ・キックインから直接ボールがコート外に出た場合は、出た地点から相手チームのキックインとする。

④ゴールクリアランスについて

- ・ペナルティーエリア内の任意の地点からゴールキーパーによって投げられる。

(ジュニアクラス)

- ・ボールが競技者がピッチ面に触れる前にハーフウェーラインを超えた場合、相手側チームにハーフウェーライン上の任意の地点より間接フリーキックを与える。

⑤キックオフについて

- ・ボールが蹴られて明らかに動いた時にインプレーとなる。キックオフから相手ゴールに直接得点することができる。

⑥ハンドリングについて

- ・インプレー中に不自然な位置以外でボールが手に『当たってしまった』という状況であれば意図的ではないのでハンドリングとしない。

⑥キックイン、フリーキック等の試合再開の場合については、相手チームは5m以上離れる。

⑦選手の交代はフィールドの選手がコート外に出てから、交代選手が中に入る。

<特別ルール>

① 試合時間はいずれもランニングタイムとする。

- ・前後半7分／ハーフタイム2分

②コートチェンジについて

- ・前後半でのコートチェンジは行なわない。

③タイムアウトはとれない。

④スライディングタックルについて

- ・ペナルティーエリア内でのゴールキーパーを除き、相手がボールをプレーしている、またはプレーしようとしているボールに対してスライディングをすることはできない。

⑤バックパスルールについて

- ・ 日本サッカー協会制定のフットサル競技規則を適用する。
(ジュニアクラス)

- ・ 一切のバックパスルールを適用しない。

⑥4秒ルールを適用する（ジュニアは除く。ただし審判による促しや指導を取り入れながら遅延行為とならない程度に実施する）

⑦選手交代用ラインを設けない。各チームの待機場所付近にて選手の交代をおこなう。

⑧警告（2つ）退場（1つ）にて退場あり。（次試合への累積はしない）

- ・ 退場後の競技者の補充は競技規則に則るものとする。
- ・ 警告、退場の状況によっては大会本部（規律委員会）にて次試合以降の出場を検討することがある。

⑨ユニフォームの着用（同色の場合には各チームでビブスを用意して着用する）

ビブスの準備ができないチームに関しては、事前に連盟へ相談する。

⑩ネックレス、指輪、ピアス、皮革やゴムでできたバンドは禁止、テープで覆うことも禁止とする。ヘッドギアやフェイスマスク、膝や腕のプロテクターは柔らかくパッドが入った危険防止ができているものは使用可能とする。

眼鏡の着用を認めるがスポーツメガネ、またはスキー用ゴーグル等でカバーすること。

⑪ベンチには大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。

⑫ジュニアクラスにおいては自チームのゴール裏で1名のコーチングを可能とする。ならびにコーチングをおこなう者は他者と区別がつくよう、ビブスを着用しなければならない。

その他 特別ルールについては、審判より指導、説明を与えてやり直しをすることがある。